

第 6 学年 社会科学学習指導案

1. 単元名 「明治の国づくりを進めた人々」

2. 指導の立場

(1) 単元について

本単元「明治の国づくりを進めた人々」では、学習指導要領における次の目標及び内容を扱う。

(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ケ) 黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解すること。

イ 次のような思考力・判断力・表現力を身に付けること。

(ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

よって、明治政府が欧米諸国を手本として、廃藩置県や四民平等などの様々な改革によって、近代国家を築き上げようとしたことを理解することと様々な改革を関連付けたり、総合したりして、政治の仕組みや世の中の様子の変化を考え、文章にまとめたり、説明したりすることが本単元のねらいである。

本校では、「差別や偏見に基づく行為は、他人の人格や尊厳を傷つけるものあり、決して許されるものではないこと」、「差別の解消には、歴史的背景を正しく理解し、自分自身の周囲の人々に対する偏見にとらわれたものでないかを考え、改善していくことを必要である」という共通理解を元に同和問題の解決に向けて、長年にわたって地域ぐるみで、様々な取り組みをしてきた歴史がある。

本単元では、同和問題に直結する四民平等と言われる新しい身分制度を取り上げる。明治政府が江戸時代の身分制度を改めようとしたこと、それは制度上のものであり、実際には差別の解消にはならなかったことから、当時の様子や差別に対する人々の考え方を学ぶ。そして、新しい身分制度に対する考えを仲間と交流することを通して、差別に対する見方や考え方を広めたり、深めたりして、自分自身の考えを確かなものにする礎としたい。

3. 単元指導計画

時数	ねらい	学習活動
1	絵図や写真から、江戸時代から明治時代への大きな変化に気付き、誰がどのように変えていったか、興味をもつ。	・ 建物や学校、まちの様子を比較して、違いや同じところを話し合う。
2	身分制度について調べ、江戸時代との比較を通して、明治政府が、江戸時代とは違う身分制度を進めようとしたことがわかる。	・ 西洋化した生活の変化について調べる。 ・ 江戸時代の身分制度と比較して明治政府の身分制度の特色をまとめる。
本時 3	明治政府が進めた身分制度の是非について交流することを通して、新しい身分制度について、自分の考えをまとめる。	・ 明治政府による身分制度の是非について交流する。 ・ 国民と政府の立場から自分の考えをまとめる。
4	外国との条約が国内を混乱させ、人々の不満を募らせやことや若い武士たちが江戸幕府よりも強い国づくりが必要であると考え、明治維新を進めたことが分かる。	・ 外国との条約について調べる。 ・ 木戸、大久保らの外国との戦いについて調べる。 ・ 大政奉還から明治政府の方針を知る。
5	大久保らが進めた諸改革について相互に関連付けて、外国に負けない強い国づくりをしようとしたことをまとめる。	・ 明治政府が進めた4つの改革について調べる。 ・ 4つの改革を関連付けて、明治政府がどのような国づくりをしようとしたのかをまとめる。
6	政府に不満をもつ人々の行動が反乱から言論へと変化したことを、国会開設を求める板垣退助の願いや行動と関連付けて考える。	・ 政府が進める改革と人々の不満を関連付けて考える。 ・ 自由民権運動を進めた板垣退助の願いや行動について考える。
7	伊藤博文がつくった大日本帝国憲法の内容を調べ、天皇中心の国づくりをしようとしたことや選挙権をもつ人が国民の一部であったことが分かる。	・ 大日本帝国憲法の内容を調べる。 ・ 大日本帝国憲法や国の仕組みの図から伊藤博文の国づくりの意図を考える。

4. 本時の目標

明治政府による新しい身分制度について交流する活動を通して、よい面があればよくない面もあること、それでも明治政府が新しい身分制度を進めるのには何か大切な理由があるかもしれないことに気付き、明治政府による新しい身分制度について自分の考えをまとめることができる。

【思考力・判断力・表現力】

5. 本時の展開 (3/7)

過程	学習活動	指導・援助
つかむ	<p>1. 明治政府による身分制度について、既習内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業や住む場所が自由に選べるようになった。 ・身分制度の元で苦しめられてきた人々も身分上は解放された。 ・皇族、華族、士族、平民という新しい形で身分の違いが残った。 ・政府は差別をなくすための政策や生活の改善を行わなかった。 ・実際は望んだ仕事に就くことや教育を受けることは難しかった。 ・結婚や就職、住む場所など、日常生活で差別が残った。 <p>2. 身分制度に対する平民による反対一揆があったこと知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・差別をされない身分の人たちが反対するような身分制度は、よくないのではないか。 <p>3. 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>明治政府による身分制度は国民にとってよかったのか。</p> </div> <p>4. 明治政府の身分制度の是非について考えて、交流する。 個人追求→グループ交流→全体交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書やノートを元に既習事項を振り返り、江戸時代の身分制度と比較することを通して、差別を受けてきた人々がいたことについて確認する。 ・資料「解放令反対一揆」を提示して、新しい身分制度が、これまで差別をしてきた人にとっては都合が悪かったことを知り、制度上は身分による差別はなくなったように見えるが、人々の心の中に、差別の心が残っていることに気づくことができるようにする。 ・グループ交流→全体交流の順に進め、質問をしたり、仲間の考えに意見を言ったりして、自分の考え方を広めたり、深めたりすることができるようにする。
考える	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【よい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厳しく差別をされていた人も名字を名乗ることができるので、以前よりよい。 ・刀を持つ人がいなくなって、安全な暮らしができる。 ・職業を選ぶことができるので、才能を発揮することができる。 ・「その他」の身分の人がいなくなったので、平等になった。 ・新しい身分制度を喜んだ人たちが、生きる希望をもったのでやる気で生活できる。 </div> <div style="width: 45%;"> <p>【よくない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しく身分の区別が残っているので、差別につながるかもしれない。 ・身分制度に反対する人がいるということは、江戸時代の方がよかったということ。 ・江戸時代の方が、それぞれの身分の人が、自分の仕事があって、社会を支えることができていた。 ・政府が、差別をなくすための政策をしていないので、この先も差別が続く。 </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>人権教育の観点【自己啓発力】 複数の立場から考えることを通して、多角的なものを見たり、考えたりしようとしている。 (手立て) 国民だけではなく明治政府の立場からも身分制度を捉え、多角的に物事を見ることのできるようにする。</p> </div>
深める	<p>・明治政府による身分制度には、よい面もあれば、よくない面もある。</p> <p>5. 新しい身分制度を進めた明治政府の意図を考えて、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい国につくり変えたかったのではないだろうか。 ・西洋風の国にしたかったのではないだろうか。 ・江戸時代までよりも西洋の考え方がよいと考えたのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習内容である「西洋化」と関連付けて、新しい国づくりと結びつけることができるようにする。
まとめる	<p>6. 授業のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>明治政府による身分制度は、みんなが平等になり、生きる希望をもてた人がいてよいところもあるが、反対する人がいたり、まだ差別をされたりする人がいる。それでも、明治政府が新しい身分制度を進めるのは、新しい国をつくるために何かねらいがあるのではないか。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価規準】 明治政府による新しい身分制度について、調べたり、交流したりしたことを根拠に、自分の考えをまとめている。 (発言・ノート)</p> </div>